

# 市議会だより

No.54



2019年5月1日発行

発行 仙北市議会  
編集 仙北市議会・  
広報編集  
特別委員会

3月定例会、議員賛否  
予算常任委員会  
一般質問  
総務文教常任委員会

P2～3 市民福祉常任委員会  
P4 産業建設常任委員会  
P5～12 いきいき広場・控室・  
P13 編集後記

P14  
P15  
P16

■神代小学校新入学生 入学式を終えて一息





# — 3月定例会 —

第2回定例会が2月25日～3月22日まで開催され、平成31年度一般会計当初予算を含む51件の議案が審議されました。また、8名の議員が一般質問に立ち、市政の課題について議論が行われました。

## 平成31年度 一般会計予算の概要

### 収 入

分煙強化によるたばこ税の減少や、観光客数の伸び悩みによる入湯税の減を見込むが、新築住宅着工数の増加等による固定資産税の増や収納対策強化により、市税収入は前年度比6,980万円の増を見込む。また、地方消費税交付金は消費増税により6,000万円の増収を見込む。一方で地方交付税は85億8,000万円と前年度対比6,000万円の減収となるが、ふるさと納税による寄付金の大幅な増加や、庁舎整備事業及び総合給食センター建設事業などによる市債発行の増加により、一般会計予算額は211億1,600万円と過去5年間で最大規模となった。

### 支 出

職員数の減少により人件費は前年度対比約5,800万円のマイナス。また、廃棄物処理施設が大曲仙北広域市町村圏組合へ移管されることに伴い、物件費は前年度対比6億8,032万円(△19.4%)の減を見込む。一方で、廃棄物処理施設の移管に伴う負担金や広域消防への負担金の増により補助費等は前年度比9億3,759万円(+35.2%)増加している。また、普通建設事業費は、庁舎整備事業や庁舎耐震化事業、小学校施設大規模改造事業、総合給食センター建設事業などにより、前年度と比較し13億6,047万円(+51.3%)の大幅な増となっている。

# 3,831万円を可決】 厳しい財政運営 早期健全化を 会計・企業会計157億2,231万円

## 平成31年度 特別会計・企業会計予算

(単位:千円)

集中管理特区……………3,405,402  
下水道事業特……………707,717  
集落排水事業……………747,986  
浄化槽事業特区……………100,111  
国民健康保険……………2,951,621

同 田沢診療施設勘定……………9,446  
同 神代診療施設勘定……………91,084  
後期高齢者医療特区……………309,235  
介護保険特区……………455,985  
生保内財産区特区……………75,591

田沢財産区特区……………47,141  
雲沢財産区特区……………3,762  
病院事業会計……………5,554,801  
温泉事業会計……………90,146  
水道事業会計……………1,172,284

## 議決結果/議員賛否 平成31年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:2/25 最終日:3/22)

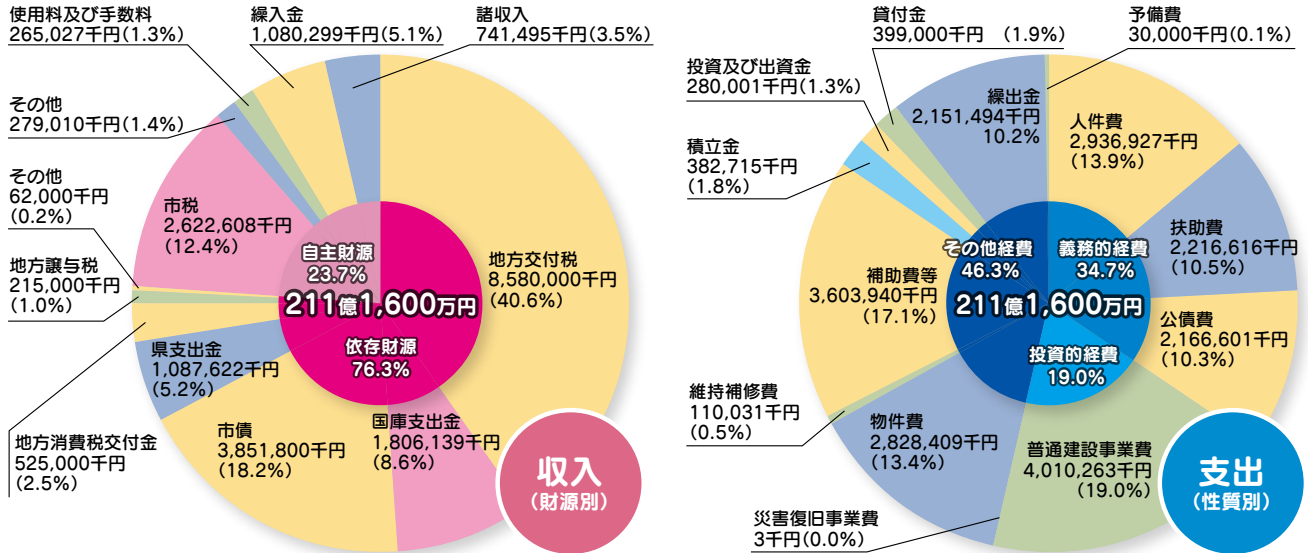
凡例: 賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席 (議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

| 議案番号     | 会派及び氏名                                 |  | 議決<br>月日 | 議決<br>結果 | 蒼生会              |                  |             |                  |                       |                  |                  |                  |                  |                  | 公明党 | 共産党 | 党及び会派に<br>属しない議員 |                  |                       |                       |                  |
|----------|----------------------------------------|--|----------|----------|------------------|------------------|-------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----|-----|------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
|          | 件 名                                    |  |          |          | 黒<br>沢<br>龍<br>己 | 小<br>林<br>幸<br>悦 | 高<br>橋<br>豪 | 田<br>口<br>寿<br>宣 | 八<br>柳<br>良<br>太<br>郎 | 眞<br>崎<br>寿<br>浩 | 高<br>橋<br>輝<br>彦 | 武<br>藤<br>義<br>彦 | 門<br>脇<br>晃<br>幸 | 熊<br>谷<br>一<br>夫 |     |     | 平<br>岡<br>裕<br>子 | 小<br>木<br>田<br>隆 | 阿<br>部<br>則<br>比<br>古 | 荒<br>木<br>田<br>俊<br>一 | 伊<br>藤<br>邦<br>彦 |
| 議案第 5 号  | 仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について |  | 3/22     | 否決       | 反                | 反                | 反           | 反                | 反                     | 反                | 反                | 反                | 反                | 反                | 反   | 反   | 賛                | 反                | 反                     | 反                     | 賛                |
| 議案第 16 号 | 平成 31 年度仙北市一般会計予算                      |  | 3/22     | 可決       | 賛                | 賛                | 賛           | 賛                | 賛                     | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛   | 賛   | 賛                | 賛                | 賛                     | 反                     | 賛                |
| 議案第 21 号 | 平成 31 年度仙北市国民健康保険特別会計予算                |  | 3/22     | 可決       | 賛                | 賛                | 賛           | 賛                | 賛                     | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 退   | 賛   | 賛                | 賛                | 賛                     | 反                     | 賛                |
| 議案第 35 号 | 平成 30 年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)       |  | 3/22     | 可決       | 賛                | 賛                | 賛           | 賛                | 賛                     | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛   | 賛   | 賛                | 賛                | 賛                     | 反                     | 賛                |
| 議案第 49 号 | 仙北市公民館条例の一部を改正する条例制定について               |  | 3/22     | 可決       | 賛                | 賛                | 反           | 賛                | 反                     | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛                | 賛   | 賛   | 賛                | 賛                | 賛                     | 反                     | 賛                |

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

# 平成31年度 一般会計予算の内訳

平成31年度一般会計予算は、過去5年間で最大となる211億1,600万円が計上されました。新角館庁舎整備事業や総合給食センター建設事業などの大規模事業が本格始動する一方で、市の歳入において大きなウエイトを占める地方交付税の減少などが財政をより厳しくしています。また、市債（市の借金）の残高は約228億円と前年度から約18億円増加し、加えて、財政調整基金（いわゆる貯金）のこれまでの取り崩しにより、期末残高が約5億3,000万円まで減少すると見込まれているため、今後、より一層の財政健全化策に取り組む必要があります。



## 【平成31年度予算総額368億 一般会計予算211億1,600万円 特別

### 市長・副市長・教育長の給与減額案を反対多数で否決 ～報酬審議会の意見を受け止め、減額よりも責任を果たせ～

3月定例会には、市長を始めとした特別職の給与について、条例で定める額から1年間の期限を区切って、約8%～20%減額する条例改正案が提案されました。この条例改正案、実は、昨年の3月議会にも同様のものが提案されており、その際には「特別職の給与改定をするのであれば、報酬審議会を開き意見を聞くなど正規の手続きを踏むべき」、「財政事情に配慮しての給与減額と言うが、何年間も同様の減額を繰り返すのであれば、そもそも本則で定めるべき」との意見が多くを占め否決された経緯があります。市ではこうしたことを経て、今年1月に第三者委員による報酬審議会を開催し答申を求めています。審議会の意見としては、「本則に定める給与額は妥当ではないか」、「減額する必要があるのか」というものが主なものであったとしながらも、「どうしても減額したいということであれば、1年間だけは認める」という結論を得たため、市当局では、再度昨年同様の給与減額案を3月議会に提案した、というのがここまでの流れになります。議会では、これについて、質疑の後に、賛成・反対両方の立場からの討論（意見を述べる場面）があり、採決の結果、賛成2、反対15で否決されました。

#### 賛成意見

- ・市内経済は未だ低迷している。いくらかでも減額するべきだ。
- ・1年ごとの時限立法で行ってきたが、国でも時限が延長されているものも多々あり手法の1つだ。
- ・報酬審議会では「1年間の減額を認める」としているのだから従うべき。

#### 反対意見

- ・市民生活を守るため、給与減額よりも責任を果たすべきだ。
- ・報酬審議会では本則の額が妥当であるとしているのであるから、減額を行うのではなく、正規の給与のもとで、それに見合う職務を全うし、直面する課題に対し全力で取り組み、市民に結果を示すべきだ。

【採決の結果】 賛成2 反対15 ⇒ 反対多数で否決（議長は除く）

# 予算常任委員会

## 本会議

3月8日の本会議では、一般会計予算を除く、条例案や特別会計、企業会計予算案等について審議され活発な質疑が行われました。その一部について掲載致します。

## 平成31年病院事業会計予算 ～厳しい市立病院経営 立て直しが急務だ～

**質問** 市立病院経営については、常勤医がゼロとなっている精神科も含めた医師確保対策や、患者の減少による収益悪化の課題などを抱え、これまでも増して厳しい状況となっているが、抜本的経営改革に着手しなければ、今後の病院存続が危ういと思われる。平成31年度において、具体的にどのような経営改革を行っていくのかについて問う。

**答弁** 医師確保については、現在地方において益々厳しく、また、医師の偏在化も起こっている状況にある。精神科の常勤医師については、秋田大学をはじめ様々な方面と協議をしているが、未だ厳しい。一方で市の就学資金制度を利用した方が、産婦人科医師として4月から着任する予定となっている。数年後には順次、制度を利用した方々の赴任が期待される。今後も粘り強く医師確保に取り組んで行く。また、人口減が進んでいる中であって、若年層の減少は避けられないが、高齢化による需要もあり、ニーズを把握し、特色のある医療を提供する必要があると考えている。病院経営は現在健全経営とは言えず、入院・外来収益を向上させるため、危機感をもって取り組みを行う。角館総合病院については、改善点を洗い出し、コンサルタントの指導も仰ぎながら改革を行う。医療局には経営企画推進室を設け、市立病院の経営改善につき、継続的なマネジメントと合わせ、本市にとって真に必要な地域医療の将来像を模索し、中長期的な機能の在り方も検討して行くこととしている。

## 予算常任委員会

平成31年度一般会計予算と平成30年度一般会計補正予算について審査されました。審査は各常任委員会による分科会形式となっており、その審査内容の一部について掲載致します。

### ○総務文教分科会

～平成31年度の予算編成について 予算要求額と実際の予算額は？～

**答弁** 平成31年度の一般会計予算は、要求額240億7,742万円に対し、査定された当初予算額は、211億1,600万円である。

適正な財政調整基金として、12億円は確保したい（当初予算5億3,123万円）。逼迫した財政事情を全職員が認識し、今から来年度以降の予算編成を意識し日々の業務にあたる。

### ○市民福祉分科会

～10月からの幼保無償化について 準備状況はいかに？～

**答弁** 10月からの幼保無償化に伴い、システム変更の経費を措置している。予算要求段階では国会の方針が未決定の為、前年同様の要求をしている。無償化に伴う保護者負担等については早急に検討する。

### ○産業建設分科会

～企業誘致 このままのやり方で良いのか？～

**市長** 企業誘致の在り方について、何度も同じような指摘にもかかわらず、実績がない事は私の指導力不足としか言いようがない。さらに、仙北市へ進出を模索している企業の皆様から“あてにならない自治体だ”と思われることが一番心配である。市のシステムとして、各セクションが役割を果たせるよう急いで見直しをしたい。又、来年度秋田県の産業集積課に職員を派遣する事としている。実績につなげたい。（市長答弁）

### トピックス

【角館東地区公民館（旧角館東小学校）野球場に市内企業が移転 野球場使用継続 求める声も】

市では、角館東地区公民館（旧角館東小学校）付属の野球場を市内企業（㈱セレクトラ）の移転用地として提供する予定であることを明らかにしました。この野球場は現在も市内500歳野球チームや学童野球の練習・大会等で使用されており、市野球連盟を始めとした各団体からは、市や議会に対し「野球場の使用継続を求める要望書」が提出されております。市では、野球場を企業用地として提供するためのこれまでの手順や、利用者に対する説明が不十分であったとし、今後、代替となる施設の整備も含め、更なる理解を得ながら進めるとしています。議会では、「市内の雇用を守るためにも用地の提供はやむを得ない」とする意見もある一方で、「そもそも利用者がいて、現在も目的を持って使用されている行政財産なのだから、簡単に転用はできない」、「雇用は大事だが、特定の個人や企業に対し、随意契約で市民の財産を提供する法的根拠はない」などとする意見もあり、一般質問や委員会などで活発に議論されております。議会最終日の本会議では、「公民館条例」の内、野球場の使用料について定められている部分を削除する条例改正案が提案され、採決の結果賛成多数で可決されました。今後は、より不公平感なく市民に丁寧な進め方が求められます。



運営体事業が二重の補助金制度になっていないか精査すべき。

蒼生会 黒沢龍己 議員



市長 重複する不公平感がないようにする。

## 地域運営体の事業活動について

**質問** 地域特性を活かした産業振興事業の内容について伺う。

**答弁** 田沢のながいも、白岩の原木まいたけ、西明寺のサツマイモ、松木内の山鳩加工所運営事業等である。

**質問** 運営体で物を買えば100%予算が出る。農林部予算で農家が加工に取り組めば、国・県の補助制度により、良くて2分の1、3分の1の補助である。二重の補助金制度になっていないか精査すべきであると思うがどうか。

**答弁** 運営体の優位性と市・県・国の補助事業との距離感、運営体事業が早く進めることができる。これは地域にとって重要だという判断が運営体の方々にあるが前提である。補助制度が重複する不公平感が無いように、地域のコンセンサスを重要視していく事には変わりはない。

**質問** 地域の加工・販売の実績について市では確認しているか。

**答弁** 確認できている。地域で6次産業を進め、経済活動を起こし所得アップをす

ば、それが定住にもつながる。

**質問** 環境保全・美化事業と集落施設補修事業も二重行政という点が見えるがどうか。

**答弁** 花木の植栽や景観維持事業等を行っている。運営体のハード事業の中には市が行うべきものもあり、同じような補助事業もある。その整理を進めていかなければならない。

**質問** 地域文化の継承事業の内容と総合型スポーツクラブ事業への補助金はあるのか。

**答弁** 田沢の歳末チャリティーや角館の灯籠流し、白岩燈火祭等々がある。

**答弁** (教育長) 総合型スポーツクラブへの市からの補助金はない。

**質問** 敬老会は市の予算と重複しないか。運営体の予算決定の際は市長等と協議しているのか。

**答弁** 市の予算は敬老会には支出していない。予算決定に際しては協議会で職員等と共有する会が基本的には年2回あり、そこで予算計上となる。

## 中川小学校の統合、閉校について

**質問** 中川小学校の平成32年統合に向けた流れを聞きたい。

**答弁** (教育長) 平成32年4月に角館小学校と統合する。31年度からは両校の学校間交流を行い、中川小学校・角館小学校統合準備委員会、(仮称)を設置し閉校記念式典を開催する。記念誌発行への支援等も行う。

**質問** 統合後も中川児童クラブを残してもらいたい。中川



■中川小学校最後の新入生

コミュニティ連絡協議会と相談しながら閉校事業を進めてほしい。閉校後の学校活用についても検討して頂きたい。

**答弁** (教育長) 住民の皆様の意見を十分に受け止め、円滑な統合に向けて着実に準備を進めていく。

## 国土調査の状況について

**質問** 国土調査の3地区の現況と、実施済み面積はどうなっているのか。また、中川地区の一部でまだ調査されてない地域もあり早急な調査を求めるものだが、仙北市全体の終了時期は一体何年になるのか。

**答弁** 西木地区では山林を含めて96・26%、田沢湖地区は農地・宅地等では完了している。角館地区は、進捗率28・35%である。中川地区の未調査地域は0・26km<sup>2</sup>で、平成32年度の実施予定である。終了には農地・宅地は約20年、山林等すべて含めば相当の年数・金額になる。検討が必要である。

(小木田隆記)

## 田沢湖の郷土史料 適切な管理を。

蒼生会 田口寿宜 議員



### 教育長 貴重な史料を守るためしっかりと努める

#### 歴史史料の整理を

**質問** 田沢湖郷土史料館で展示されていた歴史的物品及び、田沢交流センター等に保管されている同様の物品について、寄贈された方々の思いを汲み取り、関係する文化団体と共に、しっかりと整理をするべきと考えるが、所見を伺う。

**答弁（教育長）** 田沢湖クニマス未来館へ貸し出した史料、田沢湖駅2階の森と遺跡の展示室で公開している黒倉潟前遺跡関係の土器類以外の農具や民具については、田沢湖活性化センターに全て移転・保管している。田沢交流センターに保管しているものと併せ、貴重な史料が散在しないよう、北浦史談会をはじめとする関係団体の方々と協力を頂き、しっかりと確認・整理を行い、適切に管理・保管出来るよう努めていく。



■田沢湖郷土史料が展示されている「森と遺跡の展示室」（JR田沢湖駅内）

#### 病院事業について

**質問** 財政面で厳しい現実を突き付けられた。このままでは一般会計に及ぼす影響も計り知れないものと察する。「抜本的な病院事業会計の改革元年」と位置付けた31年度は強力なリーダーシップが求められるが、病院開設者である市長及び病院事業管理者の決意を伺う。

**答弁** 病院自らが主体的に改革に取り組み、今できる改善策を積み重ね、同時進行で専門家に改善点の洗い出し業務等を委託し、これまで成し得なかった内部改革を実行す

る。病院事業管理者をトップに、病院職員全員が最大の危機感を持ち取り組む。開設者・管理者共に、早急な経営改善・改革を推し進める決意だ。

この機を逃さず、目前の課題解決策の実行、中長期的な視点で医療の在り方を描き直したい。病院経営は非常に危機的な状況だという認識を持ち対応する。

**答弁（病院管理者）** 病院運営の構造的な問題を洗い出し、必要な改革を大胆に実行する必要がある。特に角館総合病院の経営改革については、外部コンサルタント業務の支援を受け、スピード感と危機意識を持った経営改革を進め、これ以上の資金不足の増大を止めなければならぬ。

一方で、本市において真に必要な地域医療の将来像を模索する事も大変重要である。その過程



■郷土史料が保管される「田沢湖活性化センター」適切な管理が求められる。

において、両病院の機能の在り方も議論する必要がある。これらの議論を先導し、喫緊の課題である経営改善を継続的に担う「経営企画推進室」を医療局に立ち上げ、今できる改善策、並行し全ての部門が経営を担っているという意識改革、中長期的な観点から進める経営改革を集中的に進める事とし、開設者である市長と緊密な連携を取り、自らが先頭に立ち全力で取り組む。

（高久昭二記）



利便性の高い工業団地を造成してはどうか。

小木田隆 議員



市長 企業ニーズを踏まえて情報収集したい。



■新たな工業団地を（小松城廻付近の官有地）

**小松城廻の官有地を造成して新たな工業団地を**

**質問** 工業団地や道の駅の建設用地として、国道105号と46号が交わり、低価格での払い下げが受けられる小松城廻の官有地を取得し造成することを提案するがその見解は。

**答弁** 今後の企業ニーズを踏まえて、候補地の一案として県や関係機関と連携し情報収集を行いたい。

**財政立て直しの考え方について**

**質問** 平成31年度の当初予算案について、市長は、これまでにない大幅な見直しをしたとしているが、具体的見直し内容を問う。

**答弁** 平成31年度は、新角館庁舎や総合給食センターの建築が本格化するため、その事業に対応する一般財源の確保に難儀した。平成30年度予算の洗い出しを行い、平成31年度における全ての事業について市長査定した上で、見直し箇所としては、特に市単独補助金事業の25事業程度の圧縮を行った。

**質問** 予算編成については市当局だけで行うのではなく、事業の見直しをするなどの財政の立て直しに議会の意見を聞く機会を設けるべきだと考えるが市長の見解を伺う。

**答弁** 予算の編成権は執行部にあるが、私の個人的な考えは、事業の見直しなどの財政問題についての議会との議論は日常的に行いたいと考えている。

**内川橋と横町橋の改修事業の早期実現を**

**質問** 内川橋と横町橋は、老朽化によりコンクリートが剥離し鉄筋が露出している箇所もあり、非常に危険な橋である。両方とも小・中学生の通学路であり、子供たちの安全・安心を確保するためにも、早急な改修が必要ではないか。



■老朽化が進む内川橋。早急な改修を求める。

角館庁舎建築が完了後の2021年度に実施設計に着手する予定であり、財源等について県に相談している。また、横町橋は内川橋の後の事業という考え方である。

**鳥獣被害対策の強化を**

**質問** 県内においてもニホンジカやイノシシの目撃が多発している状況にある。仙北市では、猟友会の高齢化や後継者不足により有害鳥獣駆除に難儀している。この課題の解決策として、若い人が多い市役所職員の狩猟免許取得を推進し、迅速に出動できる体制にしてはどうか。

**答弁** 市役所職員に狩猟免許保持者は2名いるが、狩猟を専従的に行うことは通常業務との兼ね合いもあり厳しい。迅速な対応のため、3地区の猟友会員が自地区内だけでなく広域に活動することができないか検討したい。また、新規狩猟免許の取得補助や銃器購入等の支援も継続していく。

（高橋輝彦記）

起債増が財政破綻に近づく要因だ。

公明党 熊谷一夫 議員



市長 計画の見直し、基本的な行財政運営を徹底する。

**財政運営は今後維持できるのか**

**質問** 平成31年度の当初予算では、全ての事業をゼロベールで見直したとしているが、主な事業は何か。また、所得アップ事業はどのようになっているのか。

**答弁** 補助金関係では、25事業、約3,800万円を削減。施設維持改良・改修等は、247項目をリスト化し、予算化、先送り、未実施等、年次計画を念頭に負担額の平準化作業も行った。所得アップ事業としては、農業IoTや農業夢プラン等、農業、商工



■合併特例債による事業(新角館庁舎予定地)

業、観光業分野の26事業、約3億5,600万円を計上している。

**質問** 合併特例債の発行額、今後の発行予定事業を伺う。また、起債増が財政破綻に近づく要因との指摘もあるがどう考えるか。

**答弁** 平成18年度から平成29年度までの合併特例債発行額は、角館統合小学校建設等18事業64億1,240万円となつていく。平成30年度から平成32年度までに、新角館庁舎建設等21事業に47億9,920万円を見込んでいく。

合併特例債は、元利償還額に対し70%が交付税措置される有利な起債であるが、借金に変わりはない。市民の安全・安心を最優先事業として絶えず計画の見直しを行い、基本的な行財政運営を徹底しなければと思う。

**まちづくりの起点となる公共施設マネジメントの具体策を早急に**

**質問** この2年間どういう施策をし、具体化されるのは何年後か。

**答弁** 平成29年3月に策定した仙北市公共施設等総合管理

計画に基づき、29年度は、建築系公共施設の個別施設計画の策定と、旧角館老人福祉センター等3施設を解体している。30年度は下水道事業ストックマネジメント計画の策定と、角中プール等8施設を解体し、事業は着々と動いている。学校施設個別施設計画やインフラ系施設のマネジメント計画は、平成32年度までに策定・公表する予定となっている。

**幼児教育・保育の無償化への対応は?**

**質問** 仙北市の準備状況と対象世帯数、今後の取り組みについて伺う。



10月から無償化となる予定の市内こども園

**答弁** 10月からの無償化の対象は430人程度となる見込みである。4月には無償化に対応する子育て支援システムの改修を発注し、6月には条例改正・補正予算案を提案する。9月には保育料の決定通知を発送したい。

**消費税引き上げに伴う消費減少対策の準備を**

**質問** 国では、増税による消費の反動減対策として、3つの活性化策を実施するとしているが、準備状況を伺う。

**答弁** プレミアム商品券事業は、住民税非課税世帯と、3歳児未満児子育て世帯主に対して、9月より購入引換券の送付を予定している。キャッシュレス決済によるポイント還元制度については、現在、商工会と連携して行っているカード決済導入説明会の開催回数を増やすなどして、導入件数の拡大を図りたい。マイキープラットフォーム構想は、県内での運用自治体は無く、現段階では導入の取り組みはしていない。

(武藤義彦記)

用語解説

・マイキープラットフォーム構想…マイナンバーカードのマイキー部分(ICチップの空きスペースと公的個人認証の部分)を活用して、公共施設や商店街等のサービスの為の共通情報基盤をマイキープラットフォームと呼び、これを利用して行政の効率化や地域経済の活性化につながる具体的構想。



## 市民の健康増進と健康寿命の延伸を。

日本共産党 平岡 裕子 議員



### 市長 参加型＋努力型で健康ポイント事業を拡大する。

#### 健康ポイント事業 二年目の取り組みは？

**質問** 市は、保健課を中心に健康ポイント事業を始めている。今後、公民館事業にも広げたいとの説明であったが、次年度の取り組みについて伺う。

**答弁** 公民館で行う「いのちの貯蓄体操」や「太極拳」、その他さまざまな健康増進活動が行われている。これらを加え今までの「参加型事業」＋公民館事業「努力型事業」を健康ポイント事業として拡大する。

#### 補聴器購入に 対する助成を 求める

**質問** 男女共、平均寿命が伸びている中で、加齢により難聴が進み、様々な症状があっても、補聴器の購入をためらっている方がいる。「聞こえ」に関する事案は、生活する上で、安心安全にかかわると捉える。補聴器購入助

成について見解を伺う。

**答弁** 身体障害者手帳の交付対象とならない、18歳以上の軽度な難聴者への支援は、現状では無い状況である。全国的には、高齢者で身体障害者手帳の交付対象とならない、軽度難聴者に限定して上限を設けて一部を助成している自治体もある。少し時間を頂き、情報収集し研究させていたきたい。



健康第一を目指し体操をする市民

#### 補正具購入助成の 拡大

**質問** がん患者補正具購入費助成制度ができて3年目となった。29年度は、頭髮10件の申請があり、社会参加を応援出来ていると実感する。今後は、がん治療対応だけでなく、頭髮に悩む女性にも目を向ける必要がある。拡大助成について見解を伺う。

**答弁** がん患者以外にも、頭髮に悩む女性を対象とする助成制度となれば、対象範囲と定義付けが非常に難しい。市民に公平感を維持できるかどうかという心配もある。又、がん患者補正具購入助成制度にも歪を来す可能性がある。現段階では助成の拡大は厳しい。

#### 選挙公報発行と、 票用紙の統一を

**質問** 有権者が投票にあたって、街頭演説、ポスター、チラシと同じく、選挙公報を参考にすると、との調査結果もある。選挙公報の発行と市長選挙の投票は、「記述式」に統一することについて、選挙管理委員会の見解を伺う。

**答弁** (選管事務局長) 選挙公報発行については、次回市長選挙及び市議会議員選挙からの実施に向け、条例整備の提案を予定。投票方法は自書式への変更を提案する予定である。

#### 国保税の負担軽減を

**質問** 全国知事会・市長会では、政府へ国庫支出金の増額を要求している情報もあるが、その現状と、平成31年度仙北市国保会計における被保険者負担額について伺う。

**答弁** 保険財政の安定化や保険料の平準化については、これまでも医療給付費の多寡や所得の差異に着目した公費の投入や、保険制度全体あるいは、市町村国保間での財政調整、また、市町村合併や広域連合の活用などによって対応してきたが、いまだ十分とは言えない状況である。

**答弁** (市民福祉部長) 国保運営審議会において、平成31年度も税率は変更しないという答申を受け、据え置くこととする。

(門脇晃幸記)

# ウスキー樽材「ミズナラ」を指名手配して はどうか。

阿部 則比古 議員



市長

情報収集の仕方について、早速真剣な検討に入りたい。

**多様化する子育て・教育環境にどう対応するか**

**質問** 学校におけるいじめ問題の深刻化や、実の親による子供の虐待死等、これまでの学校教育の考え方では対処が困難な事案が全国的に多発しつつある。本市でも教育現場で、法を後ろ盾にした対処ができるよう、スクールロイヤル制度を検討する時期にきているのではないかと。

**答弁**（教育長） 学校や教師を法的な形でサポートし、助言をするという制度は現在行っていない。トラブルを法的に解決するため弁護士が学校へ派遣される「スクールロイヤル制度」については、国と県の動向を見据えながら、導入を検討したい。

**学校統廃合の在り方は**

**質問** 学校の統廃合に対する今後のタイムスケジュールと、統合に対する市の考え方を伺う。

**答弁** 中川小学校は角館小学校と統合、桧木内中学校は、今後も意見交換を継続して、

よりよい教育環境を目指すことで進めていく。地域の子どものための拠点がなくなることに對する保護者や地域の方々の不安に寄り添い、学校跡地の利活用も含め地域との連携に取り組む。

**答弁**（教育長） グローバル化、情報化等、変化の激しい社会を生き抜くことができる、心身ともにたくましい児童生徒を育てるためには、ある程度の人数の中で切磋琢磨し、より多くの人間関係を経験し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成することが求められている。小規模校には個に応じたきめ細かい指導



■学校にスクールロイヤル制度を（市内児童クラブの仲間たち）

がしやすく、成績の向上も図りやすいなどというメリットがある反面、児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れたら、認め合ったり、協力し合ったり、一人一人のいろんな力を伸ばしていくということが若干難しいというようなデメリットもある。保護者や住民と認識を共有し、子どもたちを健やかに育むより良い学校のあり方を求めて行く。

**「ミズナラ」をみんで探そう**

**質問** 「ウスキー樽材に適しているミズナラを知りませんか」と市民に「指名手配」



■ミズナラを見つけてウスキー樽を作ろう

をかけてはどうか。  
**答弁** 市では、県産ウスキー製造の準備を進めている企業である「ドリムリンク社」及び、林業関係者と共同で調査活動を行っている。市内のナラ林はコナラが大部分を占め、ほとんどが薪炭用等に伐採された後に、萌芽更新された若齢木と判明している。市内の民有林にはミズナラは少ない。実態を把握する上でも、手法は約束できないが、入山者からの情報収集の仕方について早速に検討する。

（平岡 裕子 記）

用語解説

・スクールロイヤル制度…学校で起こるいじめや保護者とのトラブル等を法的に解決するため、弁護士会と教育委員会の連携のもと、学校に弁護士が派遣される制度である。



## 市長が描く理想のまちとは。

蒼生会 門脇 晃 幸 議員

教育長

一人一人が生活の豊かさを実感できるまちの創造である。

### 仙北市のまちづくりについて

**質問** 市長が描く理想のまちとはどういうものか。現在どれだけ具現化しているか。今後、まちが変わる努力をどうされるのか伺う。

**答弁** 地域住民と行政が協働し、地域特性や機能を十分に発揮する事で産業が活性化し、まちの機能や行政サービスの充実が図られ、一人一人が生活の豊かさを実感できるまちの創造である。

総合計画で掲げた8つのまちづくり基本目標の指標に対する達成度を参考にすると、全体で103の指標のうち58%、60の指標がA評価という内容である。私たち自身が能動的に改善をしていく立場・姿勢を貫く事で前進できると考える。

### 幹線道路のトライアングル化を

**質問** 105号線から341号線を結ぶ田沢湖の北部を通る幹線道路を一本整備する事で、V字型の動脈がつながり、物流・観光・生活等の経済効果や市民の暮らしの向上に貢献すると考えるがどうか。

**答弁** 現在、国道46号・105号が幹線道路として改



■解体を待つ旧市立角館病院

良事業が進められている。田沢湖畔の北側を通るルート（田沢湖西木線）の整備について、県と協議をする事から始めたい。

### 公共施設縮減化のスピードアップを

**質問** 市が持っている約300の施設の147が築30年を経過している。更新費用は今後40年間で約1,000億円かかる試算である。年更新費用25億円は市の投資比率の3.5倍に相当する。延べ床面積の縮減スピードもスローに感じるが所見を伺う。

**答弁** 財政力が小さいまちはど建設系公共施設の更新をスピードアップ対応させなければならぬ。県内で当市と人口規模が近い市と比較してみると、見劣りする縮減スピードではない。方針が決まっていな施設は、早急に個別計画を策定して、少しでも早く35%の削減目標を達成するよう全力を尽くす。そうしないと財政が厳しくなる悪循環が広がる懸念を持っている。

**質問** 延べ床面積65%縮減で、ランニングコストが約4億円削減される試算の根拠は何か。第1期個別施設計画（2025年）では、いくら削減となるのか。

**答弁** 計算上、300施設の床面積の維持管理費約11億円の35%縮減で約4億円削減可能となる。第1期では1億円を削減目標と考えている。平成32年度には後期計画の策定を予定している。

**質問** 除却処理を推進する事は、自治体が健全でフットワークの軽い行政執行ができるものと考ええる。施設の売却・譲渡や除却処理を迅速に執行する可能性について伺う。

**答弁** 遊休施設の除却・売却が財政運営の健全化に直結する事は正論である。皆様方に丁寧な説明をして理解を得た上で進めていきたい。秋田遊休公共施設等利活用ネットワークなども活用して売却情報も市内外に広くアピールしていきたい。

（熊谷 一夫 記）

## 総合型地域スポーツクラブに対する活動支援を求める

蒼生会 高橋 豪 議員



教育長

財政的な課題や指導者人材確保も含め支援に努めたい

生涯スポーツへの取り組みと総合型地域スポーツクラブの活性化を

質問 第二次仙北市総合計画及び第三次仙北市社会教育計画では、総合型地域スポーツクラブの支援について記載されているが、総合型地域スポーツクラブの現状を問う。また、これまで取り組んできた具体的な支援内容を問う。

回答（教育長） それぞれの総合型スポーツクラブの運営は厳しい現状にあるものと認識している。意見交換の場を設けることで、課題等を共有しながら、県のスポーツ振興班クラブアドバイザーとの意見交換を行うなど、クラブの活動支援を行っている。今後も市の関わりを含めた支援の在り方を検討していく。

質問 それぞれのクラブの財政的な課題について、スポーツ振興くじ助成金などによって円滑な運営が行われていたものが、この助成期間が終了した後に財源確保に難航し、活動を縮小または休止せざるを得ないという場合も多々あると聞く。財源確保の課題が解決されない限り、総合型地

域スポーツクラブを継続・発展させるということは難しいと考えるが、どのような方策をもってこの課題解決にあたるのか。

回答（教育長） それぞれのクラブにおける財政運営については、厳しい課題であるものと捉えている。行政から直接的な補助金の交付は難しいものであるが、スポーツ少年団や体育協会などの関連する団体から、新しい種目の講習会や研修会の委託料という形で支払うというような例もあるので、財政的な支援の仕方についてはいろいろな角度から検討している。市内にある五つの団体のそれぞれの課題に

ついて、ニーズ等を伺いながら支援を進めたい。

質問 クラブマネージャーや各種目の指導者の人材確保、育成も大きな課題であるが、現状とその対策を問う。

回答（教育長） クラブマネージャーの人材育成のため、県では研修会等を開催し人材の確保、資質の向上を目指して取り組んでいるが、育成もなかなか進んでいないというのが現状である。各種目の指導者については、体育協会、また加盟団体との連携により確保しているものと認識はしているが、市としても、今後積極的に情報提供し、人材確保に向けて対応に努めたい。

角館東地区公民館付属野球場の工場用地転用に関する事項について



総合型地域スポーツクラブへの積極的な支援を



市内企業の移転用地とされた角館東地区公民館付属の野球場

角館東地区公民館付属野球場の工場用地転用に関する事項について

質問 角館東地区公民館附属の野球場施設は、市内企業の移転用地とする方向で企業側と交渉中であることが明らかにしたが、野球場の使用継続を求める声が数多く出されている中、今後どのような対応をしていくのか。

回答（教育長） この野球場施設は目的をもって使用する教育委員会が所管する行財政産であるので、利用者としてしっかりと協議をし、了承を得たうえで対処したいと考えている。

（真崎寿浩記）



# 総務文教常任委員会

## 平成31年度一般会計予算 総務費37億7,390万円 庁舎整備と耐震化事業に13億3,000万円

平成31年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。新角館庁舎整備事業やその他庁舎の耐震化事業などにより、総務費は前年対比54.6%と大幅にアップしています。

### ■平成31年度一般会計予算 (総務文教常任委員会で審査されたもの)

| 項目  | 31年度予算額    | 30年度予算額    | 比較         | 伸び率    | 備考                     |
|-----|------------|------------|------------|--------|------------------------|
| 議会費 | 1億7,317万円  | 2億579万円    | △3,262万円   | △15.9% | 議会運営に関する予算             |
| 総務費 | 37億7,390万円 | 24億4,060万円 | 13億3,330万円 | 54.6%  | 行政運営全般や企画政策等           |
| 消防費 | 9億6,107万円  | 9億4,319万円  | 1,788万円    | 1.9%   | 大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算     |
| 教育費 | 27億8,369万円 | 14億4,007万円 | 13億4,362万円 | 93.3%  | 小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算 |
| 公債費 | 21億6,660万円 | 21億4,191万円 | 2,470万円    | 1.2%   | 借金の返済                  |

### ■平成31年度予算 主な内容

|                 |            |                                      |
|-----------------|------------|--------------------------------------|
| 庁舎整備事業費         | 11億33万円    | 新角館庁舎整備事業費の内、平成31年度分                 |
| 庁舎耐震化事業費        | 2億3,031万円  | 田沢湖庁舎などの耐震改修設計費用                     |
| 地域運営体活動推進費交付金   | 3,600万円    | 地域運営体への活動交付金 31年度からは提案型部分900万円が削減される |
| 生保内小学校長寿命化改修事業費 | 2,834万円    | 生保内小学校の大規模改修事業についての設計費               |
| 小学校施設大規模改造事業費   | 1億182万円    | 桧木内小学校の体育館改修工事費                      |
| 総合給食センター建設事業費   | 11億8,184万円 | 総合給食センターの建設事業費                       |

### ここが知りたい 議論のポイント

平成31年度一般会計補正の主な質疑

#### 新角館庁舎整備事業 入札不調の今後は？

質問 新角館庁舎建設工事の入札が不調に終わった原因と今後について伺う。

答弁 入札辞退の理由は参加予定4社中、1社が「予定価格と積算額が合わない」としており、残る3社は「都合により辞退」としている。今後は再度の指名審査を経て、設計変更等はせず再度の入札を行う予定だが、3月の改正による労務単価上昇と、契約が4月以降にずれ込むことによる、消費税分2%を見込む必要がある。全体の事業費枠内で行うこととしたい。

#### 地域運営体活動推進費交付金 はなぜ減額されるのか？

質問 交付金が前年度の4,500万円から3,600万円へと減額された理由は何か？

答弁 これまでの実績を勘案して、提案型事業枠を廃止したため、全体で900万円の減額となる。

#### 学校の大規模改修 小中一貫校の導入は

質問 平成31年度予算では生保内小の大規模改造事業など施設の老朽化に伴う改修費が多く盛り込まれているが、今後、中学校についても同じく老朽化が進むため、そちらも大きな改修が必要となる。維持管理の観点から、小中一貫校も視野に入れて設計を行うべきではないのか？

答弁 生保内小は築40年を超え老朽化が著しく、全面的に改修を行うための実施設計予算を計上している。生保内中も既に築30年以上経過しており、今後同様に改修が見込まれる。小中一貫校については今後の検討課題としたい。

#### 中学校の部活動 生徒数減少でも取り組める環境を

質問 中学校の部活動は、近年生徒数の減少により、他校との合同チームで活動する場面も増えている。また、個人競技の一部では、様々な制約により大会等に参加できないケースもあると聞く。こうした状況下でも、やりたい分野に挑戦できる環境整備が必要ではないのか？

答弁 中体連の規定により、テニスのダブルスなどに制約があり、大会参加がかなわないケースもある。今後中体連に対し提案し、改善できるように努力する。

# 市民福祉常任委員会

## 平成31年度一般会計予算

## 民生費・衛生費 76億4,427万円

平成31年度一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。廃棄物処理施設の大曲仙北広域市町村圏組合への移管に伴い、清掃費は前年比マイナス7億814万円(-46.1%)と大幅な減額となっております。また、市立病院事業では、医師確保対策として行ってきた奨学金制度により、4月から角館総合病院に産婦人科医師1名が赴任することとなりました。

### ■平成31年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査されたもの)

| 項目  |       | 31 年度予算額   | 30 年度予算額   | 比較         | 増減比率   | 備考                      |
|-----|-------|------------|------------|------------|--------|-------------------------|
| 民生費 | 社会福祉費 | 28億7,178万円 | 31億4,819万円 | △2億7,641万円 | △8.8%  | 障害者や高齢者の福祉に関する予算        |
|     | 児童福祉費 | 15億5,850万円 | 15億8,126万円 | △2,276万円   | △1.4%  | 認可保育園の運営など児童福祉の予算       |
|     | 生活保護費 | 6億2,448万円  | 6億4,052万円  | △1,604万円   | △2.5%  | 生活保護にかかる予算              |
|     | 国民年金費 | 840万円      | 944万円      | △104万円     | △11.0% | 国民年金事務に関連する予算           |
|     | 災害救助費 | 107万円      | 89万円       | 18万円       | 19.7%  | 災害救援に関する予算              |
|     | 計     | 50億6,422万円 | 53億8,030万円 | △3億1,608万円 | △5.9%  |                         |
| 衛生費 | 保険衛生費 | 5億9,715万円  | 6億7,079万円  | △7,364万円   | △11.0% | 病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など |
|     | 水道費   | 2億594万円    | 1億8,073万円  | 2,520万円    | 13.9%  | 簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算    |
|     | 病院費   | 9億5,000万円  | 9億844万円    | 4,156万円    | 4.6%   | 病院事業に対する補助などの予算         |
|     | 清掃費   | 8億2,696万円  | 15億3,510万円 | △7億814万円   | △46.1% | ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費       |
|     | 計     | 25億8,005万円 | 32億9,506万円 | △7億1,501万円 | △21.7% |                         |

### ■平成31年度予算 主な内容

|                           |         |                              |
|---------------------------|---------|------------------------------|
| 障害者支援施設「かわ船の里角間川」改築事業費補助金 | 2,277万円 | 「かわ船の里角間川」建設事業への助成。          |
| 介護タクシー利用助成事業費             | 59万円    | 在宅要介護認定者が、通院などに利用した場合半額を助成。  |
| 幼児教育推進事業費                 | 157万円   | 幼児教育推進のため、教育・保育アドバイザーを配置。    |
| 社会福祉法人はなさき仙北補助金           | 7,900万円 | 市内認定こども園を運営する「はなさき仙北」への補助。   |
| 医師確保対策事業費                 | 2,482万円 | 将来、指定医療機関に勤務する意思のある学生への修学資金。 |

### ここが知りたい 議論のポイント

#### 平成31年度 一般会計予算の主な質疑

#### 障害者支援施設「かわ船の里角間川」への補助金について

質問 「かわ船の里角間川」へのこれまでの支払額と今後の支払額は。

答弁 4年間にわたった工事は来年度で終了する。総事業費が約13億5,500万円で、仙北市の負担額は4年間で2億6,763万9千円である。平成31年度の2,277万1千円は最後の工事費負担である。

#### 介護タクシー利用助成事業費について

質問 介護タクシー利用助成事業費は新規事業だが詳しい内容は。

答弁 社会福祉協議会に委託していた事業だが、車両の耐用年数により、介護タクシー2事業所に依頼し、介護保険外のサービスとして利用した場合、半額を補助する事業である。



■完成した「かわ船の里角間川」の室内

社会福祉法人はなさき仙北補助金について  
質問 はなさき仙北への市職員派遣終了と補助金の内容は。

答弁 平成31年度は、保育士4名、事務員1名の派遣を解き市に戻す形になる。

補助金については、新規採用する保育士を含め主に人件費に充てられる。

#### 医師確保対策事業費について

質問 当初予算2,482万円の内容とその効果は。

答弁 主なものは修学資金で、医師だけでなく看護師や薬剤師、医学療養師等も含む。新年度は医師1名、看護師2名の貸付を予定している。効果としては、4月から産婦人科の先生1名が赴任する。



# 産業建設常任委員会

## 平成31年度一般会計予算 土木費14億7,816万円 前年比12.7%の減

平成31年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの主要予算が審査されました。内、土木費は前年度対比で、マイナス2億1,524万円（-12.7%）と減額幅が大きくなっておりませんが、これは、冬期間の除雪費が当初予算に計上されていないためです。市では9月に補正予算措置する予定としています。

### ■平成31年度一般会計予算（産業建設常任委員会で審査されたもの）

| 項目     | 31年度予算額    | 30年度予算額    | 比較         | 増減比率   | 備考                  |
|--------|------------|------------|------------|--------|---------------------|
| 労働費    | 6,804万円    | 6,887万円    | △83万円      | △1.2%  | 緊急雇用対策事業など          |
| 農林水産業費 | 11億3,278万円 | 12億971万円   | △7,693万円   | △6.4%  | 農業・畜産・林業・漁業関係の予算    |
| 商工費    | 9億432万円    | 9億3,409万円  | △2,977万円   | △3.2%  | 商工業活性化や観光に関する予算     |
| 土木費    | 14億7,816万円 | 16億9,341万円 | △2億1,524万円 | △12.7% | 道路や橋梁の整備・維持などに関する予算 |

### ■平成31年度予算 主な内容

|                             |         |                             |
|-----------------------------|---------|-----------------------------|
| 農業夢プラン型戦略作物等生産基盤<br>拡大事業費   | 3,239万円 | 米に依存しない複合経営等に関する市内認定農業者への支援 |
| 元気な中山間資源を生かす生産体制<br>整備事業補助金 | 1,268万円 | 中山間地域の畑地化整備・6次産業化への機械等の導入補助 |
| 薬用作物等産地拠点化支援事業費             | 144万円   | 生薬メーカーと連携し薬用作物等の産地化を推進      |
| 新規就農総合支援事業費補助金              | 1,500万円 | 青年の新規就農者増加のための補助            |
| 企業誘致対策事業費                   | 30万円    | 田沢湖黒沢工業団地の維持管理及び企業誘致活動      |
| 地域ブランディングによる<br>観光まちづくり事業費  | 2,120万円 | 外国人観光客の受入体制整備、観光プロモーション等    |
| 冬期交通対策費                     | 2,982万円 | 市道等の除排雪による冬期間の交通確保          |

## ここが知りたい 議論のポイント

### 平成31年度一般会計予算の主な質疑

#### 農業振興に関する予算はなぜ減額？

質問 農業振興費全体の減額が大きく、特に農業夢プラン型戦略作物目等生産基盤拡大事業と元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金の減額が3,300万円程あるがその理由は？

答弁 どちらも全県で人気のある事業である。県単独事業であり要望量も多いが、県全体の予算額が減少しており、予算の枠取りが前年よりも減ったため事業費ベースが下がっている。

#### 薬用作物の産地化について

質問 薬用作物等産地拠点化支援事業費における平成30年度の状況と課題は？

答弁 組合員は、31の個人・団体である。当初はジャクシを作付けたが仙北市の風土に合わないことからシャクヤクにシフトしている。平成31年度は2町歩増やす計画である。

#### 若者へのさらなる就農支援を

質問 農業を取り巻く環境が厳しくなる中で、新規就農者の確保に向けた取り組みは行われているが、若い人がなかなか就農しない現実がある。当局では根本的な理由をどう捉えているのか。

答弁 大きな要因としては収入が安定していないことだ。米だけでは限界がある。園芸や畜産などを推奨し安定した収入の確保に繋げる取り組みを進めていきたい。

#### 企業誘致はどうなっているのか

質問 黒沢工業団地への企業誘致の進捗及び市内企業の市有地への移転事業についてはどうなっているのか。

答弁 黒沢工業団地については、食物工場の現地法人立上げのため、間もなく国に補助金申請に入る。市内企業の市有地への移転事業は、進め方に丁寧さを欠き、企業と市民の方々に迷惑をかけ本当に申し訳なく思っている。雇用確保の重要性を理解して頂き、市民の意見を取り入れながら対応していく。

#### 除雪費の当初予算額はなぜ少ないのか

質問 冬期間の除雪費である冬期交通対策費の当初予算が随分少ないが大丈夫なのか。

答弁 除雪費として、3億5千万円ほど要求したが2,982万円しか計上されなかった。3億2千万円ほど削られている。除雪費は9月の補正予算で対応することになると思われる。



■市の除雪費  
大半は9月に補正される見込みとなった

## いきいき広場

### 浅利久美子 さん

「おはよう、いらっしやい」  
いつも元気な浅利久美子さん（西木町長戸呂）を訪ねました。

昭和30年から酒店を経営する重富美さん（2代目）に嫁いで31年目と話す久美子さん。

10年ほど前、上野の産直で初めて「栗の渋皮煮」を販売したことがきっかけで、今では年間2カ月もの間、関東近郊のイベント・産直に参加しているという。地場産にこだわりの、四季折々に仙北市内の様々な山菜、野菜、加工品などを販売している。酒店の横に



■浅利久美子さん（秋田どんぐり村合同会社 西木町長戸呂）  
「栗の渋皮煮」など地場産にこだわった加工品をはじめ、山菜・野菜などを首都圏に販売している。

は加工施設もあり、この時期は夫婦でクルミの選別作業などを行っている。

3年前には、多くの旬のもの、地元の旨いものを提供したいと「秋田どんぐり村合同会社」を設立した。

今後の目標については「適正価格で販売してくれる店舗を増やしたい」と笑顔で話してくれました。

（武藤義彦 記）

## 控室

### 500歳野球チームの決断

新元号「令和」がスタートしました。昭和生まれの私は、昭和が遠くなっていく寂しさがあります。昭和から平成に変わる時の「自粛」ムードとは違い、令和は譲位という

お祝いムードがあり、明るく前向きな新時代到来の気配を感じさせます。

さて、3月定例会で旧角館東小学校野球場を企業用地として貸し出すための条例の一部改正が審議され、可決されました。

当初は、野球場を使用していた仙北市内の500歳野球8チームは、使用継続を求めて、市長及び議長あてに要望書を提出して反対しておりま

## 編集後記

議会開会日、16ページの紙面の担当を決めます。表紙と一般質問者写真は真崎委員。題材選びとシャッターチャンスが難しいようです。

一般質問と答弁で一時間に及ぶ内容を約千字程度にまとめる作業は、質問者の思いや市民の皆さんに内容が伝わるかどうか担当委員の悩むところでもあります。委員会報告は所属議員がまとめます。

会期中に、新角館庁舎入札

不調の情報が入り、「スタート悪いとどこまでも」とつぶやきが聞こえました。  
10月から2%上がる消費税が影響しています。「増税中止しかないな」とささやきも。最終日には、神代小松地区にある「セレクトラ」が、河川から離れた角館東公民館グラウンドに工場の一部を移転し経営規模拡大を図りたい旨の要望があり、地域利用者の理解のもと、普通財産に移すことになりました。地元企業応援も自治体の役目ではないでしょうか。

（平岡裕子 記）

## 新会派結成

### 会派名 市民クラブ

（代 表）

稲 田 修

（副 代 表）

伊 藤 邦 彦

（幹 事 長）

阿 部 則 比 古

（副 幹 事 長）

荒 木 田 俊 一

（経 理 責 任 者）

小 木 田 隆

した。しかし、3回に渉る話し合いを経て、野球場への工場建設により、雇用の確保・拡大などが図れることは、仙北市にとって有益であるとの思いから、協力する決断に至った経緯があります。

仙北市内の500歳野球チームが協力する条件とした、代替野球場の整備について、市当局は迅速に対応しなければなりません。

（高橋輝彦 記）